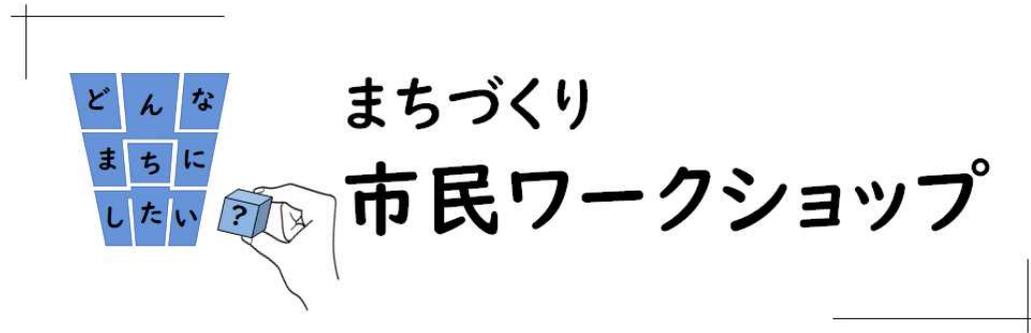


第6次常滑市総合計画策定



開催結果

2021(令和3)年4月～6月

2021(令和3)年7月

常滑市

目 次

1	はじめに	1
	(1) 目的	1
	(2) 概要	1
	(3) ワークショップの位置づけ	2
2	開催結果	3
	(1) 第1回ワークショップでの検討結果	3
	(2) 第2回ワークショップでの検討結果	10
	(3) 第3回ワークショップでの検討結果	18
3	参加者アンケート結果	25
4	参加者名簿	28

1 はじめに

(1) 目的

第6次常滑市総合計画の策定にあたっては、基本方針のなかで「本市を取り巻く環境の変化・市民ニーズをとらえた計画づくり」を掲げており、様々な市民参画の機会を設け、多様な視点の市民意見を集約することとしています。

こうしたことから、まちづくりの方向を市民目線で検討し計画へ反映させるとともに、市民と行政が協働して計画づくりを行うことを目的に、「まちづくり市民ワークショップ」を開催しました。

今回いただいたご意見・ご提案を最大限に活用し、第6次常滑市総合計画の策定を進めていきます。

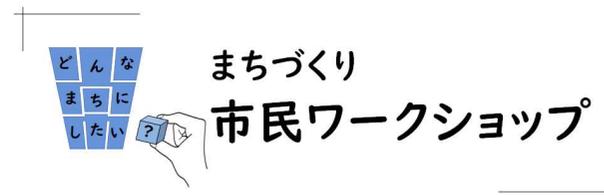
(2) 概要

○名称 第6次常滑市総合計画策定「まちづくり市民ワークショップ」

○参加者 合計24人（一般公募5人、各分野13人、市職員6人）

○ファシリテーター 久野 弘幸氏（中京大学 教養教育研究院 教授）

○各回のテーマ・内容



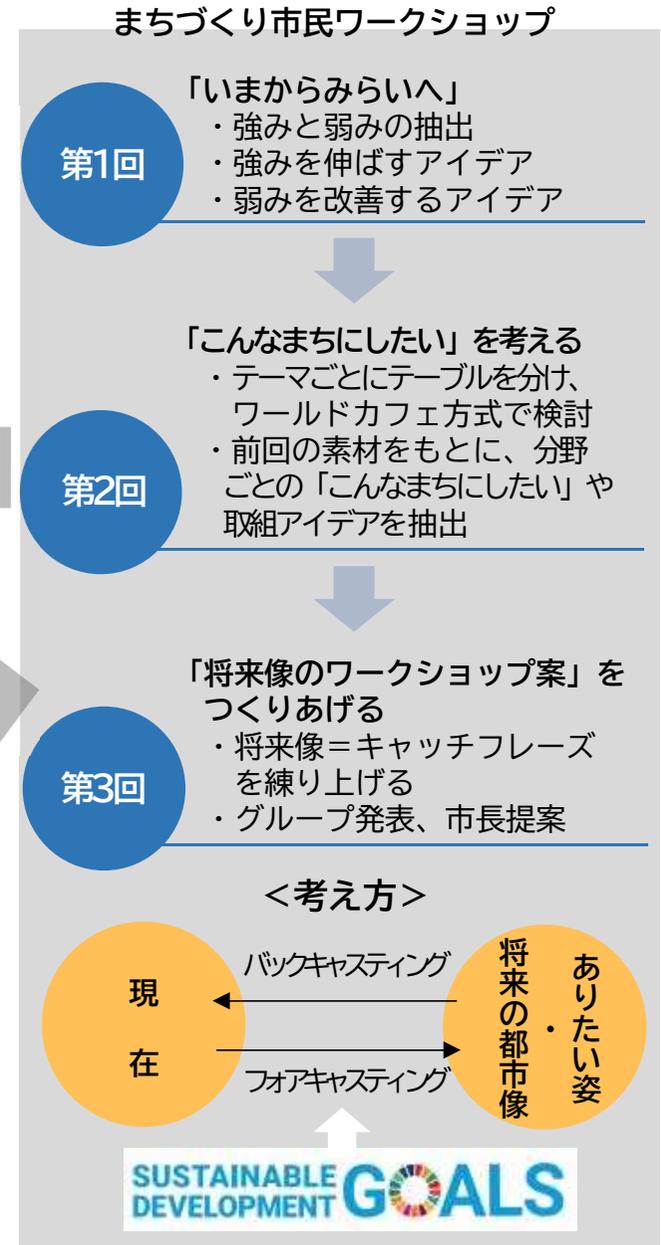
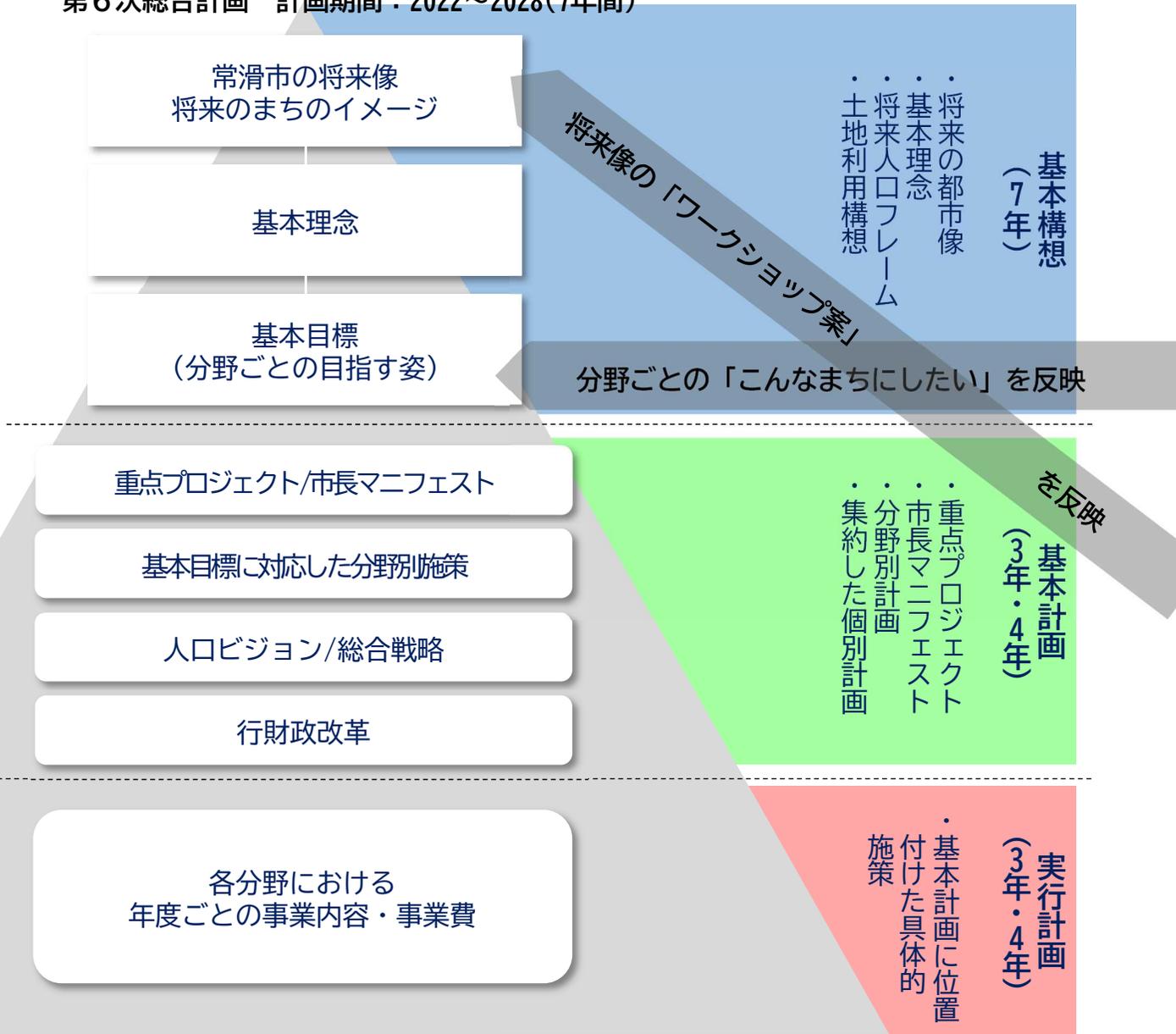
テーマ		内容
①	「いまからみらいへ」	市の現状を把握したうえで、「良いところ・改善したいところ・強みを伸ばし弱みを改善するアイデア」を検討
②	「こんなまちにしたい」を考える	分野ごとのなりたいまちの姿とそれを実現するための取組アイデアを検討
③	「将来像のワークショップ案」をつくりあげる	目指す将来像「なりたいまちの姿のキャッチフレーズ」を提案

○日時・場所・参加者数

	実施日時	場 所	参加者数
①	4月17日（土） 9:30～12:00	市役所2階大会議室	19人
②	5月15日（土） 9:30～12:00	〃	21人
③	6月12日（土） 9:30～12:00	〃	22人

(3) ワークショップの位置づけ

第6次総合計画 計画期間：2022～2028(7年間)



2 開催結果

(1) 第1回ワークショップでの検討結果

はじめに、第6次常滑市総合計画の役割や策定の流れを説明し、人口推移・財政状況・市の動き・取組施策などについてレクチャーするとともに、市民アンケート調査結果の報告をしました。

そして、市民の皆さんには、こうした市の現状を把握していただいたうえで、あらかじめグループごとに指定されたテーマについて「良いところ、自慢できるところ」、「困っているところ・心配なところ」、「強みを伸ばし、弱みを改善するためのアイデア」を検討していただきました。

第1回は、自分が住むまちについて足元から見つめ直すとともに、第2回に向けて未来志向で「どんなまちにしたいか」考えるスタートの回となりました。

第1回の検討結果は以下のとおりです。

<グループごとのテーマ一覧>

Aグループ	出産・子育て、健康・医療、福祉
Bグループ	公共交通、防災・防犯
Cグループ	学校教育・生涯学習、スポーツ・文化芸術
Dグループ	市街地・住環境、自然環境・生活環境
Eグループ	観光、常滑焼、商業・工業、農業



<各グループの検討結果（第1回）>

まちづくり
市民ワークショップ

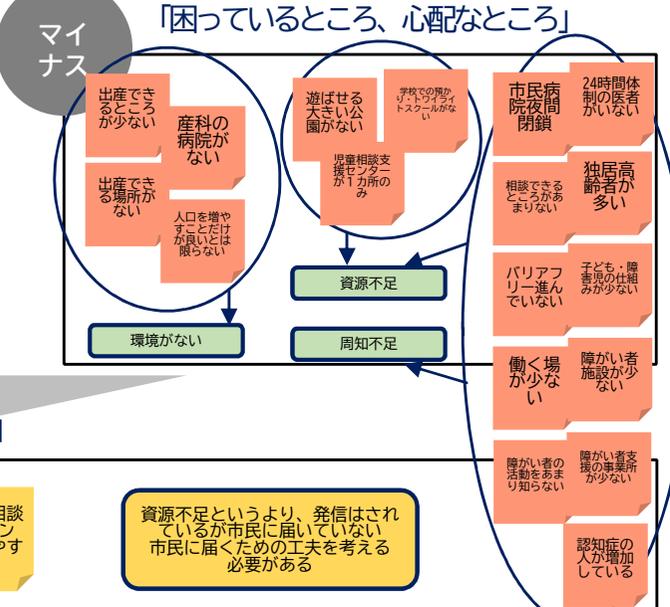
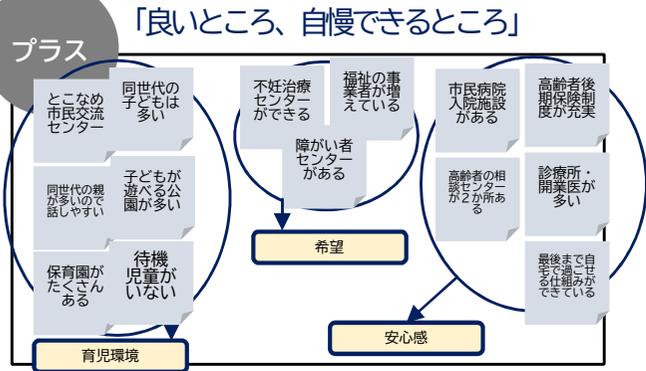
テーマ

出産・子育て、健康・医療、福祉

メンバー

河合、渡邊、安藤、吉川

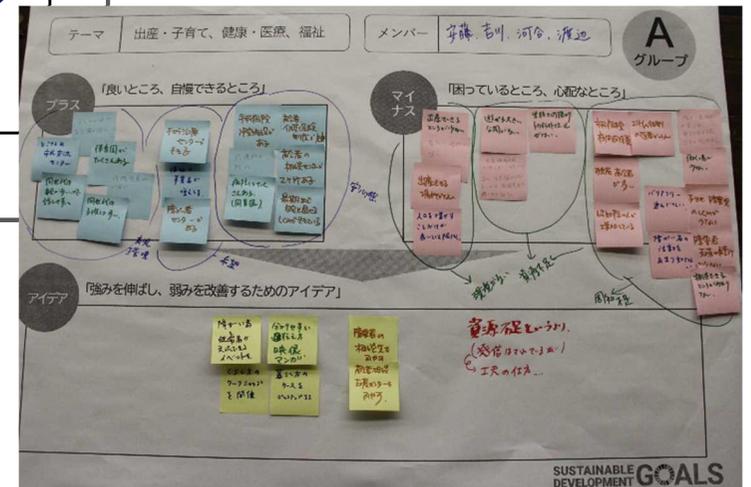
A
グループ



「強みを伸ばし、弱みを改善するためのアイデア」

- アイデア
- 障がい者と健常者が交流できるイベントを
 - 分かりやすい伝え方（映像・マンガ）
 - 高齢者相談支援センター増やす
 - くらし方のワークショップを開催
 - くらし方のケースをピックアップする
 - 障がい者の相談先を増やす

資源不足というより、発信はされているが市民に届いていない市民に届くための工夫を考える必要がある



<各グループの検討結果（第1回）>

まちづくり
市民ワークショップ

テーマ	公共交通、防災・防犯
メンバー	西本、酒井、伊藤、安藤

B
グループ

「良いところ、自慢できるところ」

プラス

- 鉄道で名古屋に出やすい
- セントレアを起点にアクセス便利
- 消防署がオープン
- 消防出張所がある
- 常滑警署がある
- 大きな犯罪が少ない
- 清掃されており駅がきれい
- 名古屋まで30分のアクセス
- 消防署が広く大きい
- 消防署が広く大きい
- 犯罪が少ない
- 人の目があり防犯に良い
- 数少ない二輪専用バスがある
- 半田にもバスで行ける
- 災害が少ない
- 防災コミュニティの充実度
- 良い意味で声掛けがある

公共交通 防災 防犯

「困っているところ、心配なところ」

マイナス

- 地震
- 津波がくる
- 道が狭い(避難路の確保)
- 草が多く走りにくい
- 空家が多い
- 夜になると暗い
- 街並みが暗い
- 防犯
- 電車不便(半田行など)本数が少ない
- 高齢者向けの移動手段が少ない
- 高齢者の移動手段が少ない
- バス停が遠い
- バスの本数が少ない
- 終電が早い
- 公共交通

「強みを伸ばし、弱みを改善するためのアイデア」

防犯灯の増設	バス以外の移動手段	移動販売	古い空家・ブロック塀の撤去支援
地域の防犯パトロールの充実	宅配サービスの充実	高齢者の生活分析し替わる移動サービス	



テーマ 公共交通、防災・防犯

メンバー あんどう・にしもと さかい・りょう

B
グループ

「良いところ、自慢できるところ」

プラス

- 鉄道で名古屋に出やすい
- セントレアを起点にアクセス便利
- 消防署がオープン
- 消防出張所がある
- 常滑警署がある
- 大きな犯罪が少ない
- 清掃されており駅がきれい
- 名古屋まで30分のアクセス
- 消防署が広く大きい
- 消防署が広く大きい
- 犯罪が少ない
- 人の目があり防犯に良い
- 数少ない二輪専用バスがある
- 半田にもバスで行ける
- 災害が少ない
- 防災コミュニティの充実度
- 良い意味で声掛けがある

公共交通 防災 防犯

「困っているところ、心配なところ」

マイナス

- 地震
- 津波がくる
- 道が狭い(避難路の確保)
- 草が多く走りにくい
- 空家が多い
- 夜になると暗い
- 街並みが暗い
- 防犯
- 電車不便(半田行など)本数が少ない
- 高齢者向けの移動手段が少ない
- 高齢者の移動手段が少ない
- バス停が遠い
- バスの本数が少ない
- 終電が早い
- 公共交通

「強みを伸ばし、弱みを改善するためのアイデア」

防犯灯の増設	バス以外の移動手段	移動販売	古い空家・ブロック塀の撤去支援
地域の防犯パトロールの充実	宅配サービスの充実	高齢者の生活分析し替わる移動サービス	

<各グループの検討結果（第1回）>

まちづくり
市民ワークショップ

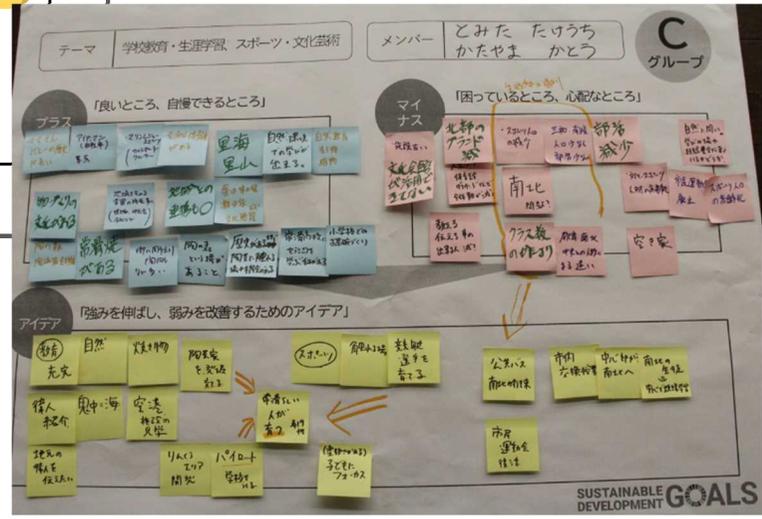
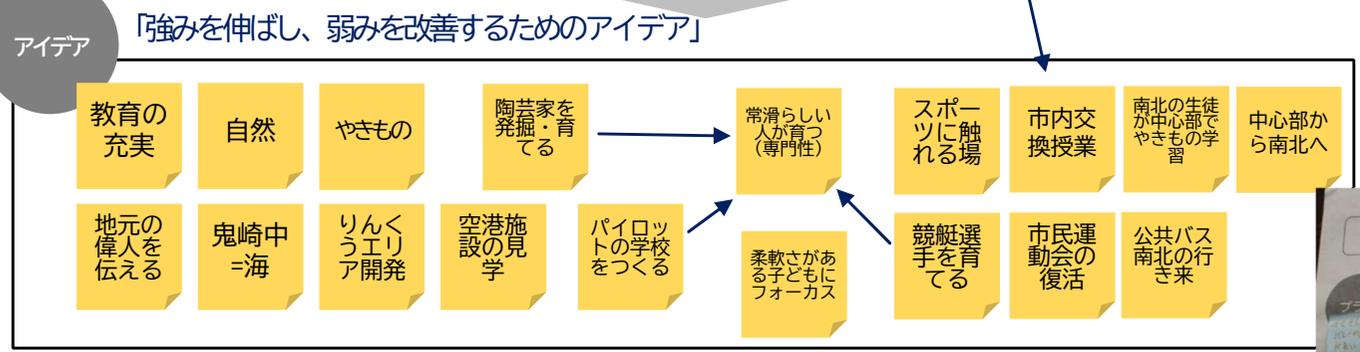
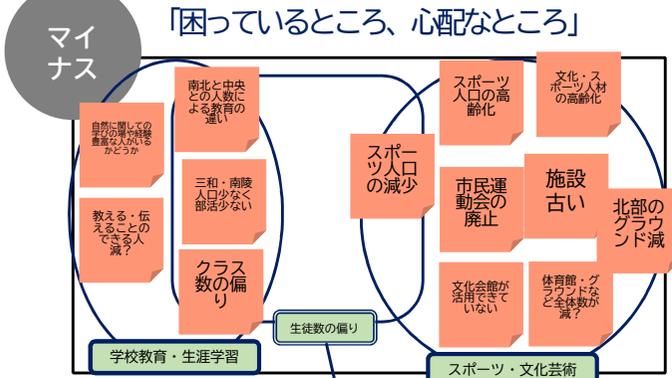
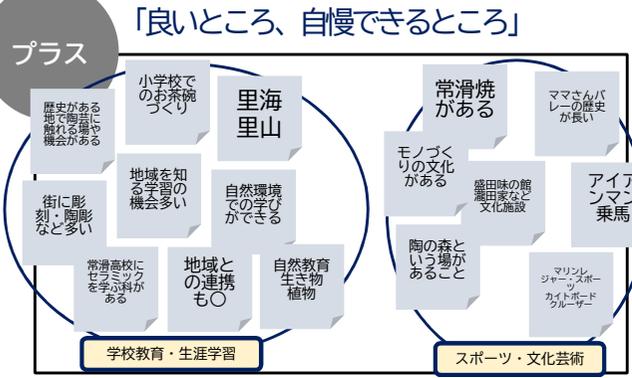
テーマ

学校教育・生涯学習 スポーツ・文化芸術

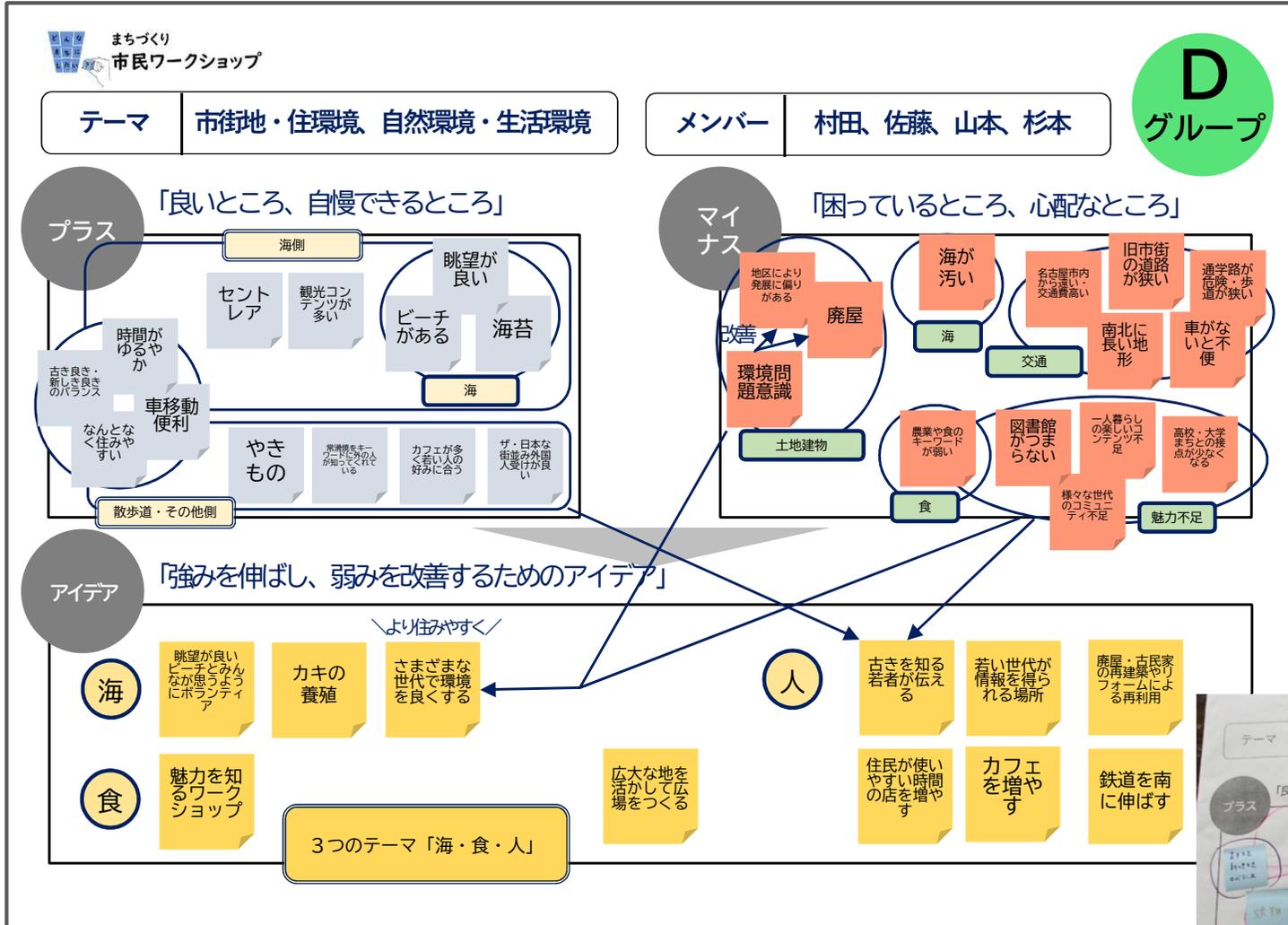
メンバー

富田、片山、加藤、竹内

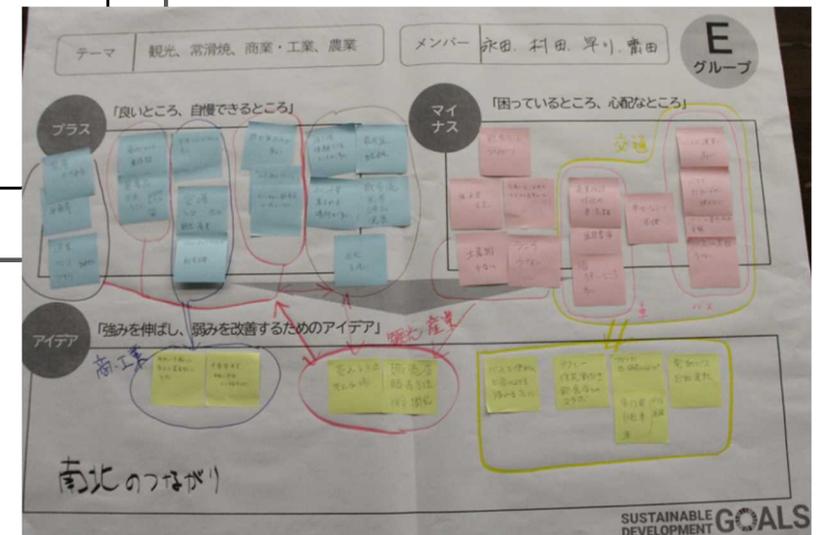
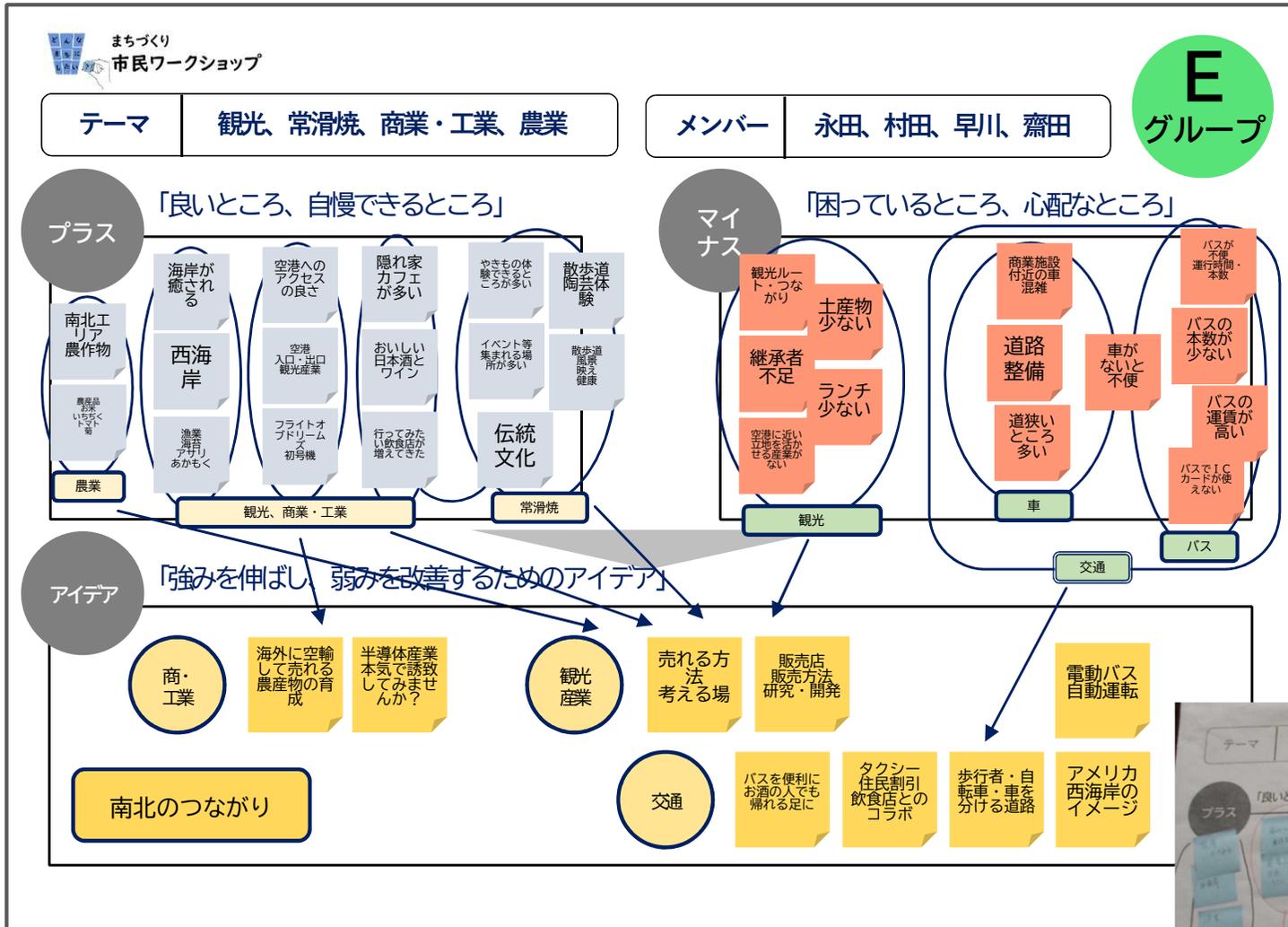
C
グループ



<各グループの検討結果（第1回）>



<各グループの検討結果（第1回）>



<各グループの検討結果まとめ（第1回）>

※主要な意見を抜粋しています

テーマ	良いところ・自慢できるところ、困っているところ・心配なところ	強みを伸ばし、弱みを改善するためのアイデア
<p>Aグループ 出産・子育て 健康・医療 福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療センターができることや障がい者センターがあること、福祉事業者が市内に増えていることは希望と感じているが、その反面、出産できるところが少ない点について不安を感じている ・医療や福祉に関する資源が決定的に不足しているわけではなく、それらの資源の情報について十分に認識されていないこと、情報は市民に発信されているが、受け手の市民の方に十分に届いていないため、情報の発信の仕方・届け方について工夫が必要ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者と健常者が交流できるイベントの実施 ・暮らし方のケースをピックアップし、ケースに合わせた情報発信を行う ・映像やマンガを活用するなど分かりやすい伝え方を検討する
<p>Bグループ 公共交通 防災・防犯</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道で名古屋に出やすく、中部国際空港を起点とした各地へのアクセスの良さは自慢できるポイントであるが、路線バスについては本数が少なくバス停も遠いなど不便さを感じており、高齢者の移動手段が少ない点も心配である ・犯罪は少ないが、街並みが暗く空家が多いことが心配である ・防災コミュニティは充実しているが、一方で地震などへの備えとして、道が狭いなど避難路の確保に不安を感じている 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活を分析しバス移動に替わる移動手段を検討する ・移動販売や宅配サービスの充実 ・防犯灯の増設 ・地域の防犯パトロールの充実
<p>Cグループ 学校教育・生涯学習 スポーツ・文化芸術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中央では小・中学校などの授業や常滑高校のセラミックアーツ科など歴史ある地で陶芸に触れる場や機会があり、南北では里海・里山を活かした自然環境での学びが充実している ・南北と中央の生徒数の偏りにより教育の違いがあり、また南北では少人数のため部活も少ないなどスポーツ人口の減少にも影響があると感じている ・常滑焼をはじめとしたモノづくりの文化があり、盛田味の館や瀧田家、陶の森などの文化施設が充実している一方、文化を担う人材の高齢化が進んでいる ・カイトボードなど海を活かした新たなスポーツはあるものの、既存のスポーツ人口の減少や高齢化が進んでおり、ハード面では施設が古くなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然・やきものを活かした教育の充実や地元の偉人を伝える機会の増加 ・南北の生徒が中心部でやきもの学習をするなど市内交換授業をしてはどうか ・陶芸家やパイロット、ボートレース選手など常滑らしい専門性もった人材が育つ環境整備
<p>Dグループ 市街地・住環境 自然環境・生活環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古き良き・新しき良きのバランスが良く、時間がゆるやかで車移動ができれば便利で住みよい一方、旧市街地の道路や通学路が狭い、車がないと不便などの点が心配である ・ビーチがあり眺望も良く、海苔などの海産物やセントレアをはじめとして観光コンテンツが多いが、農業や食のキーワードが弱いと感じる ・やきものを中心とした古い街並みは外国人受けも良く、カフェは若い人に人気であるが、廃屋が多い点が心配なところである ・高校・大学が少なく、若者のまちとの接点が少ない、一人暮らし向けの楽しいコンテンツの不足、様々な世代のコミュニティ不足など魅力が欠けている点があると感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・より住みやすくすることを共通目標に、海・ビーチを通して様々な世代で環境を良くする活動 ・地元の食の魅力を知るワークショップの開催 ・廃屋や古民家を再利用したカフェなど若い世代が交流できる場の整備、若者が古き良きを伝える活動
<p>Eグループ 観光 常滑焼 商業・工業 農業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩道や陶芸体験、映える風景など常滑焼を中心としたコンテンツが充実しているほか、南北エリアでは米・いちじく・トマト・菊などの農作物が豊かで、海では海苔・アサリ・あかもくなど漁業が盛んであるが、土産物が少なく、観光ルートのつながりが弱い ・フライトオブドリームズなどをはじめ航空関連の商業施設があり、また空港を玄関とした観光産業が魅力的な点である ・観光するにも本数や決済方法などバスの便が悪く車がないと不便な状況である 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外に空輸して売れる農産物の育成 ・販売方法など研究・開発するなどの観光産業の育成 ・タクシー住民割引・飲食店との連携 ・電動バスや自動運転の導入 ・半導体産業の誘致

(2) 第2回ワークショップでの検討結果

第1回で検討された内容について振り返ったあと、第1回の検討内容をもとに分野ごとの「なりたいまちの姿」について意見を出し合うとともに、それを実現するための取組アイデアを検討しました。

第2回では、実施方法として「ワールドカフェ方式」を取り入れ、グループメンバーを固定せずにテーマ別に設定したテーブルを参加者が移動することで、いろいろな参加者と出会い、複数の分野のまちづくりについて話し合っていました。

第1回から徐々に視野を広げ、第3回に向けて「将来像（なりたいまちの姿のキャッチフレーズ）」のイメージを膨らませます。

第2回の検討結果は以下のとおりです。

<各テーブルのテーマ一覧>

テーブルA	出産・子育て、健康・医療、福祉
テーブルB	公共交通、防災・防犯
テーブルC	学校教育・生涯学習、スポーツ・文化芸術
テーブルD	市街地・住環境、自然環境・生活環境
テーブルE	観光、常滑焼、商業・工業、農業・漁業
テーブルF	住民活動・地域活動、行政運営・財政運営、デジタル化・オンライン化

ワールドカフェ方式とは

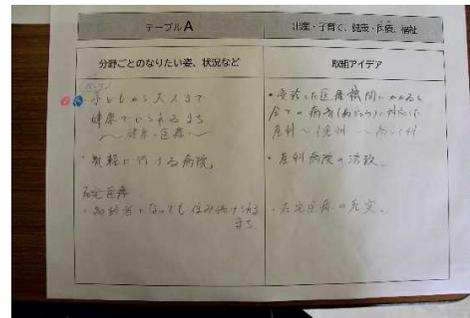
- ✓ 20分程度の話し合いを数回おこないます。回が変わるごとに1人を残して全員が他のテーブルにそれぞれ移動することで、回ごとに別のテーブルの話し合いに参加できます。1人残った人は移動してきた人にそのテーブルで進んだ話の内容を伝えます。
- ✓ テーブルの真ん中にある模造紙に、話し合いのなかで浮かんできたアイデアを自由に書き込んでいきます。こうすることで、移動してきた人でもその前にどんな事が話されていたのか分かりやすく、意見も出しやすくなります。
- ✓ メンバーの組み合わせを変えながら小人数での話し合いを続けることで、あたかも参加者全員で話し合っているような効果を得ることができます。



<各テーマの検討結果（第2回）>

※ワークシートおよび発表用シートの意見を集約しています。
 ※★は、当日の参加者による「イイね！」の投票を獲得した意見です。

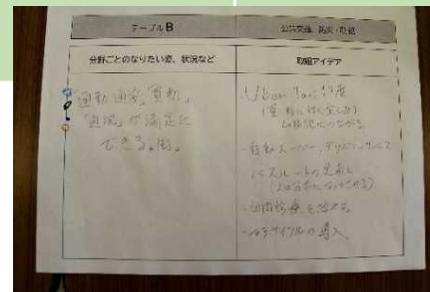
テーマ	なりたいまちの姿、状況	実現するための取組アイデア
テーブルA 出産・子育て 健康・医療 福祉	★子どもから大人まで健康でいられるまち ~健康・医療~ ・高齢者になっても住み続けられるまち ・気軽に行ける病院	・受診した医療機関にかかるすべての病気（病状）に対応した産科～小児科～高齢科 ・産科病院の誘致 ★在宅医療の充実
	★仕事と出産・子育てが両立できるまち ★遊び場が充実したまち	★安心して出産できる場所（産院施設）を増やす ★年中無休で24時間子どもを預かってくれる施設の整備（無料だと良い） →あらゆる勤務形態で働く親をサポートできる ★大型遊具がたくさんある巨大公園の整備 ★雨の日でも子どもが走り回れる施設 →学校体育館の開放、新規整備
	★市民が、カラダとココロが健やかで元気になる安心してすごせるまち	・仕事終わりでも行きやすい、駅近くのジム ★防災無線/防災ラジオを活用した“ラジオ体操” ・健康管理アプリの活用 ・相談支援センターの増設 ・気軽に参加できるワークショップなどの開催
	・高齢者や障がい者が、将来を安心して暮らせるまち	・働きやすい環境 ・やりがい（責任）のある環境 ・交通機関の確保（デマンドバス） ・企業誘致 ・求人情報の提供
	PR大事！	



<各テーマの検討結果（第2回）>

※ワークシートおよび発表用シートの意見を集約しています。
 ※★は、当日の参加者による「イイね！」の投票を獲得した意見です。

テーマ	なりたいまちの姿、状況	実現するための取組アイデア
テーブルB 公共交通 防災・防犯	★住民同士で見守り合って安心して暮らせるまち	★不審者がいた時にかげこめる家の共通目印（ステッカー）の作成・普及 ★自動的に点く街路灯や非常ベルの設置 ※空港で働く人が多いので夜に通勤する人が多い（特に常滑駅－多屋駅区間） ★民生委員を活用した防犯・見守り強化 ※一般市民では指摘しにくいことを役割をもった人が替わって言える ・Uber Taxiの普及
	★地震・津波など自然災害にも備えられていてみんなが知っていて安心できるまち	・狭い道路の拡張 →消防車や救急車がどこでも家の前に止められる ・分かりやすい海拔表示 ・常滑の災害リスクがどれくらい分かるようにする ★グーグルマップに避難所を表示 ★若者・単身者が町内会に入りやすい・入りたくなる取組「デジタル町内会」
	★「通勤・通学」「買い物」「通院」が満足にできるまち	・Uber Taxi制度の整備 →買い物に行く楽しみ、防犯につながる ・移動スーパー、デリバリーサービスの充実 ・バスルートの見直し（人口分布とのマッチング） ★訪問診療のできるクリニックを増やす ★シェアサイクル（のりすて可）の導入
	・安心 安全 便利 ・みんなが知ってる避難場所、みんなで見守る安心なまち ・多様な公共交通で安心、安全、便利なまち	



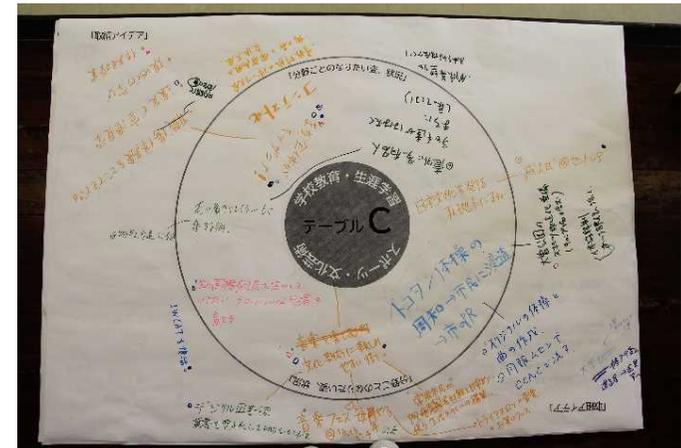
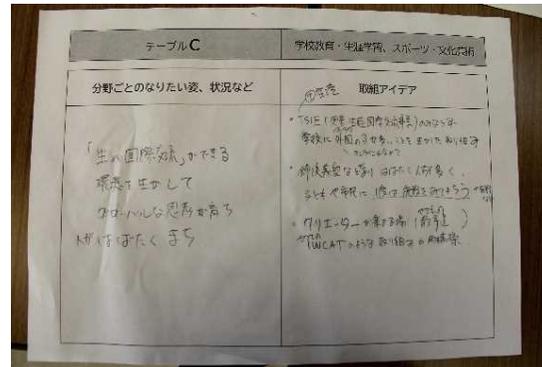
<各テーマの検討結果（第2回）>

※ワークシートおよび発表用シートの意見を集約しています。
 ※★は、当日の参加者による「イイね！」の投票を獲得した意見です。

テーマ	なりたいまちの姿、状況	実現するための取組アイデア
<p>テーブルC 学校教育・生涯学習 スポーツ・文化芸術</p>	<p>★世界で活躍できる人材を育むまち</p> <p>※さまざまな分野において実現できると良い！ ※子どもたちが戻ってくる！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Zoom等を活用した国際交流 →グローバルな思考を育む ・市のオリジナル体操の作成や周知 →日常的に運動する機会や場の創出 ・陶の森資料館の活用 →日本の伝統文化に触れる ★まち全体での職場体験 →学校行事として実施し、社会人になったときのイメージをする機会を設ける
	<p>・からだを動かすことに気持ち良さや楽しさを感じてもらうことにより（ストレス解消・元気になる・フットワークが軽くなる）、スポーツをしたいという関心が高まり、スポーツの活性化により、市民がイキイキ元気なまち！（健やかで元気なまち）</p>	<p>★老若男女どの世代も取組みやすい“ラジオ体操”促進もしくは常滑オリジナルの“常滑体操”を作る</p> <p>※公園であれば、リーダー養成講座によるリーダーを中心とした実施もしくはケーブルテレビや防災ラジオなどを活用した自宅での実施</p> <p>※毎週土曜日7:00～など決まった時間 ※オリジナルの音楽や体操を市民募集 ※トコタンがPR</p>
	<p>★「まち全体がキッズニア」 市内のすべてが学びの場であるまち</p> <p>※学校教育で教室にいるよりも現地へ行って本物を学ぶ機会を増やす</p>	<p>★小学校の遠足や社会見学で空港へ行く</p> <p>★体験授業</p> <p>※中学校の職場体験では市内の企業のすべてが受入体制を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶の森と常滑高校の交流会を開く ・他校との交流も増やしてスポーツ大会やコンテスト化 ・これらを市外にPRすることで興味をもった方への誘致に
	<p>★「生の国際交流」ができる環境を生かしてグローバルな思考が育ち人がはばたくまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・TSIE（児童・生徒国際交流事業）や空港のみならず、学校にいろいろな外国の子どもが多いことを生かした取組み（オンラインも含めて） ・鈴溪義塾などがあり、はばたく人材が多く、子どもや市民に1度は施設を見てもらう（無料化など） ・クリエイターが集まる場（やきもの散歩道など）でかつてのIWCATのような取組の再構築

※ワークシートおよび発表用シートの意見を集約しています。
 ※★は、当日の参加者による「イイね！」の投票を獲得した意見です。

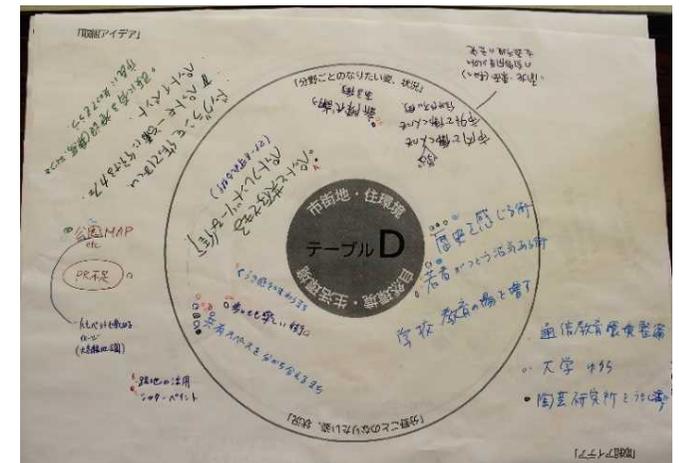
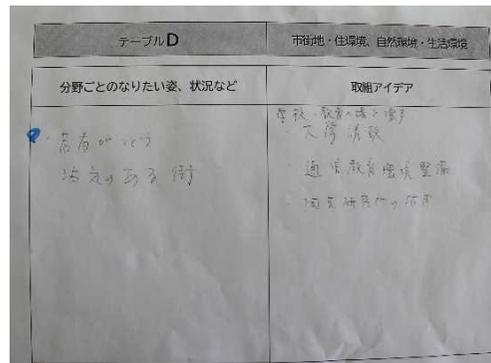
テーマ	なりたいまちの姿、状況	実現するための取組アイデア
学校教育・生涯学習 スポーツ・文化芸術	★文化・芸術に親しみやすいまち	★デジタル図書館 ※蔵書を電子化してiPadを貸し出す ★音楽フェスを毎年開催@りんくうビーチ ★市民が陶の森資料館を日常的に使う生活スタイルの構築 ★オリジナルの音楽や体操を市民募集 ※トコタンがPR



<各テーマの検討結果（第2回）>

※ワークシートおよび発表用シートの意見を集約しています。
 ※★は、当日の参加者による「イイね！」の投票を獲得した意見です。

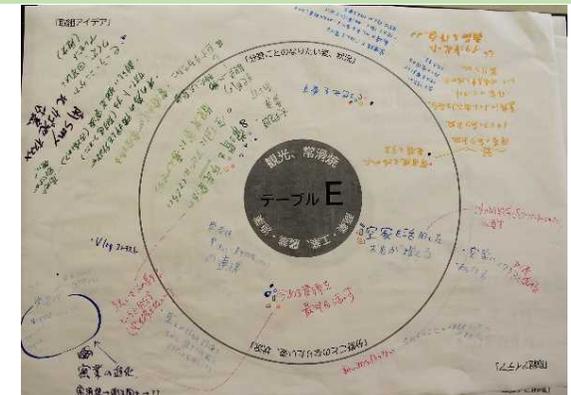
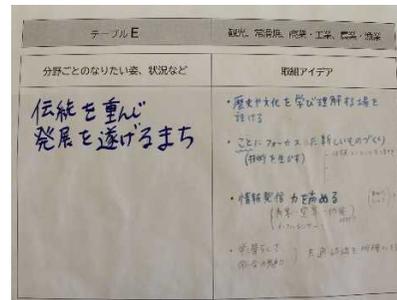
テーマ	なりたいまちの姿、状況	実現するための取組アイデア
テーブルD 市街地・住環境 自然環境・生活環境	★共有スペースを分かち合えるまち	★路地の活用 ★公園の活性化、公園マップの整備（PR） ※人もペットも楽しめる、大高緑地公園のイメージ ・素晴らしい文化や建物は残す ・空地の活用（カフェなど）
	★若者が集う活気のあるまち	★学校、教育の場を増やす ※大学誘致 ※通信教育環境の整備 ※陶芸研究所の活用
	★動物にも優しいまち ★ペットと共存できるペットフレンドリーなまち	・ペットと一緒にいけるカフェを増やす ・ドッグランの整備 ・ペットイベントの開催
	★新陳代謝する“いなか” ・市内で働く・学ぶ人にも市外で働く・学ぶ人にも 住みやすいまち	★南北+東西（半田方面へ）の自家用車以外の交通手段の充実 ・空き家・廃屋対策の充実 ※お試しで期間限定で住んでみる事ができる物件の確保



<各テーマの検討結果（第2回）>

※ワークシートおよび発表用シートの意見を集約しています。
 ※★は、当日の参加者による「イイね！」の投票を獲得した意見です。

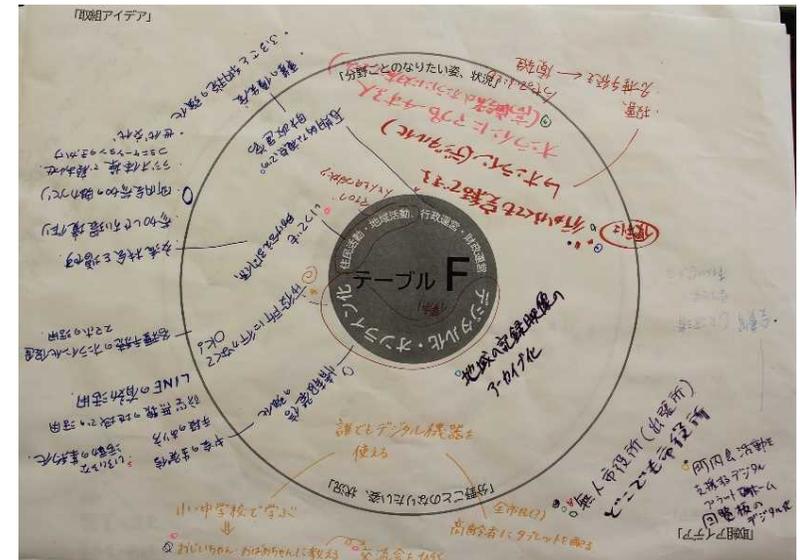
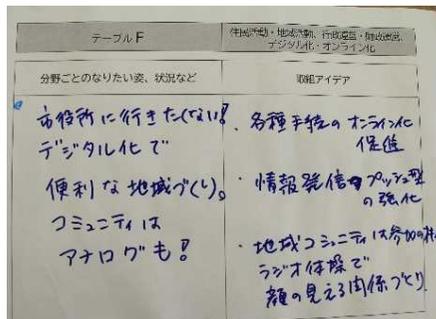
テーマ	なりたいまちの姿、状況	実現するための取組アイデア
テーブルE 観光・常滑焼 商業・工業 農業・漁業	・常滑らしさを活かすまち ※外から何かを持ってくるのではなく、内にある魅力を見つけていく	・常滑の歴史観を共有し、窯業をはじめ漁業・農業などの魅力を知る取組 ・常滑の資源を活かした暮らしに、まず市民が挑戦できる仕組み ・その暮らし方が魅力となって、外から“人”や“モノ”や“コト”を呼び込む
	★常滑の良さを市民が理解し外に発信できるまち	・市民優待でやきもの散歩道のクーポンを配布 ・e-ラーニングでクイズを実施し、回答者にプレゼント ・古墳マップの作成 ・学校で歴史を勉強 ※今あるもので充分活用できる
	★人々が地元に着用を持ち、地元の魅力を発信し、たくさんの人々が訪れるまち	・常滑焼と農作物をセットで販売 ★新しいものを考えるより今あるものを活かす(空家含め) ・体験コンテンツの充実 ・市民からのSNS発信（コンテストもあり）
	・伝統を重んじ、発展を遂げるまち	・歴史や文化を学び理解する場を設ける ・コトにフォーカスした新しいものづくり ※技術を活かす、体験コンテンツを増やす ・情報発信力を高める ※商業・窯業・作家、インフルエンサー対象 ※B to C、C to C ・常滑らしさ/常滑の魅力について共通認識を明確化



<各テーマの検討結果（第2回）>

※ワークシートおよび発表用シートの意見を集約しています。
 ※★は、当日の参加者による「イイね！」の投票を獲得した意見です。

テーマ	なりたいまちの姿、状況	実現するための取組アイデア
テーブルF 住民活動・地域活動 行政運営・財政運営 デジタル化・オンライン化	★デジタル化・オンライン化で効率を上げつつ、市民と行政の顔を合わせたコミュニケーションが継続できるまち	・市役所が中心となった交流スペースの整備 （街かどサロン・カフェなど）
	★市役所に行きたくない！デジタル化で便利な地域づくり。 コミュニティはアナログも！	・各種手続きのオンライン化促進 ・情報発信・プッシュ型の強化 ・地域コミュニティは参加の機会を ラジオ体操で顔の見える関係づくり



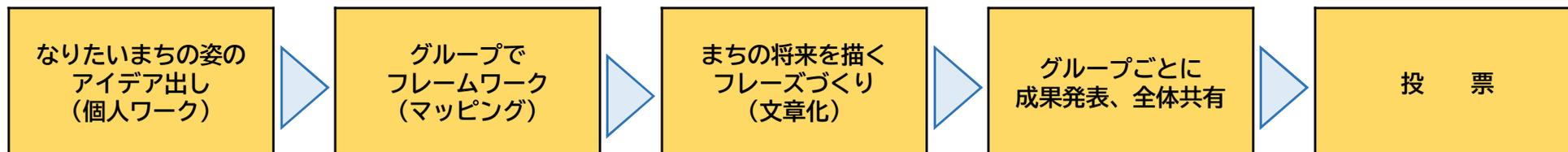
(3) 第3回ワークショップでの検討結果

これまでの検討内容について振り返ったあと、第1回・第2回の検討内容をもとにグループに分かれて意見を出し合い、第6次常滑市総合計画の期間中に目指す将来像「なりたいまちの姿のキャッチフレーズ」のワークショップ案について検討しました。

各グループから合計16個のワークショップ案が出され、成果発表のあと参加者による投票も行われました。

当日は市長も出席し参加者と意見交換をするとともに、「将来像」のワークショップ案を受取りました。

<検討のステップ>



<各グループの検討結果（第3回）>

Aグループ

なりたいまちの姿=キャッチフレーズ	理由、意味、想いなど	票数
① ユーモラスシティ とこなめ	活気、チャレンジ、遊び心	5
② 猫とのんびり暮らせるまち	安全、安心、治安	3
③ とこなめ はじめました	成長、発展	6

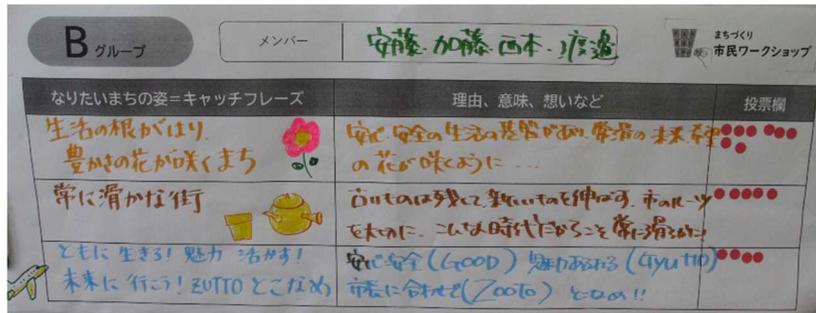
Aグループ		メンバー	柴山, 佐藤, 浅田, 齋田	まちづくり 市民ワークショップ
なりたいまちの姿=キャッチフレーズ	理由、意味、想いなど	投票欄		
ユーモラスシティ とこなめ	活気, チャレンジ, 遊び心	●●●●●		
猫とのんびり暮らせるまち	安全, 安心, 治安	●●●		
とこなめはじめました	成長, 発展	●●●●●		



<各グループの検討結果（第3回）>

Bグループ

なりたいまちの姿=キャッチフレーズ	理由、意味、想いなど	票数
① 生活の根がはり 豊かさの花が咲くまち	安心・安全の生活の基盤があり、常滑の未来・希望の花が咲くように…	8
② 常に滑らかな街	古いものは残して、新しいものを伸ばす。市のルーツを大切に。こんな時代だからこそ常に滑らかに！	5
③ ともに生きる！魅力活かす！未来に行こう！ ZUTTO とこなめ	安心・安全（GOOD）、魅力あふれる（GYUTTO）、市長に合わせて（ZUTTO）とこなめ！！	4



<各グループの検討結果（第3回）>

Cグループ

なりたいまちの姿=キャッチフレーズ	理由、意味、想いなど	票数
① 手と手を取りあい、世界とつながる 夢 創るまち ところなめ	子ども・高齢者・障がい者みんなが協力しあう、知多半島初の施設づくり。セントレアで世界へはばたく人材育成・外国人技能実習生の受け入れ。焼物・農・海産物のPR、他市他県から移住したいと思われるような夢を創り出すチャンスを与える。	4
② 伝統と革新がよりそう 伝統未来都市	常滑焼をほこりに、りんくう町の発展をワクワクし それらが融合したまち	3
③ 住み続けたい また訪れたい 風土を生かし 人がはばたくまち ところなめ	焼き物、海、空港など多様な風土を生かして住みやすく人が集い、はばたいてほしい。	0

Cグループ メンバー 植田・富田・原・竹内 まちづくり 市民ワークショップ

なりたいまちの姿=キャッチフレーズ	理由、意味、想いなど	投票欄
手と手を取りあい、世界とつながる 夢 創るまち ところなめ	子ども・高齢者・障がい者みんなが協力しあう、知多半島初の施設づくり。セントレアで世界へはばたく人材育成・外国人技能実習生の受け入れ。焼物・農・海産物のPR、他市他県から移住したいと思われるような夢を創り出すチャンスを与える。	●●●●
伝統と革新がよりそう 伝統未来都市	常滑焼をほこりに、りんくう町の発展をワクワクし それらが融合したまち	●●●
住み続けたい また訪れたい 風土を生かし 人がはばたくまち	焼き物、海、空港など多様な風土を生かして住みやすく人が集い、はばたいてほしい。	



<各グループの検討結果（第3回）>

Dグループ

なりたいまちの姿=キャッチフレーズ	理由、意味、想いなど	票数
① 多様な価値を重んじ “内”にも “外”にも ひらかれた街 とこなめ	南北に長い常滑は、暮らしや風習が多様であり、それを尊重できる街でありたい。 人の考え方や人の往来にひらかれた街でありたい。	3
② 自然豊かで伝統をいかし 将来も人に愛される 街 とこなめ		1
③ ともにくらす 新旧共存のまち とこなめ		4

Dグループ		
メンバー	河合・早川・山本・片山	
なりたいまちの姿=キャッチフレーズ	理由、意味、想いなど	投票欄
多様な価値を重んじ “内”にも “外”にも ひらかれた街 とこなめ	南北に長い常滑は、暮らしや風習が多様であり、それを尊重できる街でありたい。 人の考え方や、人の往来にひらかれた街でありたい。	●●●
自然豊かで 伝統をいかし 将来も 人に愛される街 とこなめ		●
ともにくらす 新旧共存のまち とこなめ		●●●●



<各グループの検討結果（第3回）>

E グループ

なりたいまちの姿=キャッチフレーズ	理由、意味、想いなど	票数
① 人とつながり、自然とつながり、世界とつながる 安心のまち ところなめ	地域共生、自然を楽しむ、空と海の玄関口	8
② 百年安心して暮らし働ける 世界につながるまち ところなめ	老後の暮らしの安心・安全、市の財政的安心・安全、 若い人の増加、長く働ける環境	2

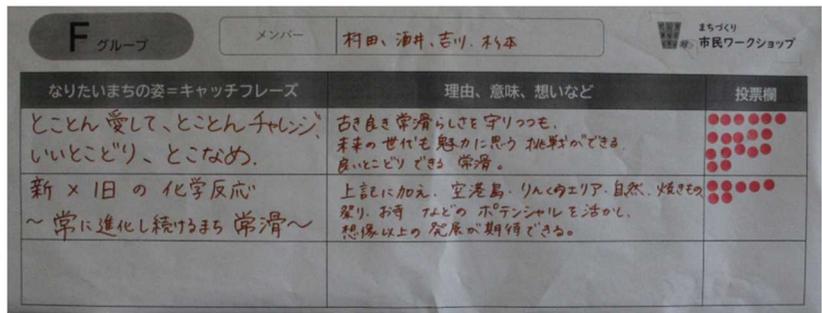
なりたいまちの姿=キャッチフレーズ	理由、意味、想いなど	投票欄
人とつながり、自然とつながり、 世界とつながる安心のまち ところなめ	◎地域共生 ◎自然を楽しむ ◎空と海の玄関口	●●●●●●●●
百年安心して暮らし働ける 世界につながるまち ところなめ	老後の暮らしの安心・安全、 若い人の増加、長く働ける環境	●●



<各グループの検討結果（第3回）>

F グループ

なりたいまちの姿=キャッチフレーズ	理由、意味、想いなど	票数
① とことん愛して、とことんチャレンジ、 いいとこどり、とこなめ	古き良き常滑らしさを守りつつも、未来の世代でも魅力に思う、挑戦できる、良いとこどりできる常滑。	18
② 新×旧の化学反応 ～常に進化し続けるまち常滑～	上記に加え、空港島、りんくうエリア、自然、焼きもの、祭り、お寺などのポテンシャルを活かし、想像以上の発展が期待できる。	7



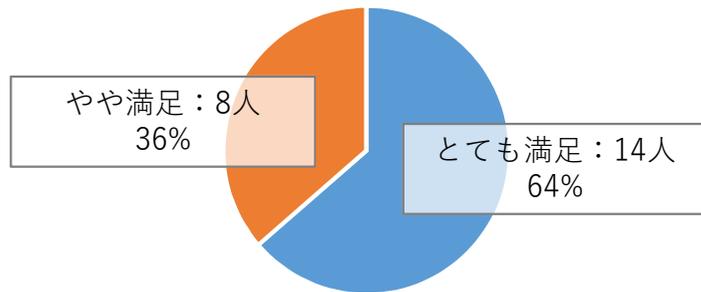
3 参加者アンケート結果

(1) 事前アンケート（とこなめへの想い・愛着について） ※抜粋

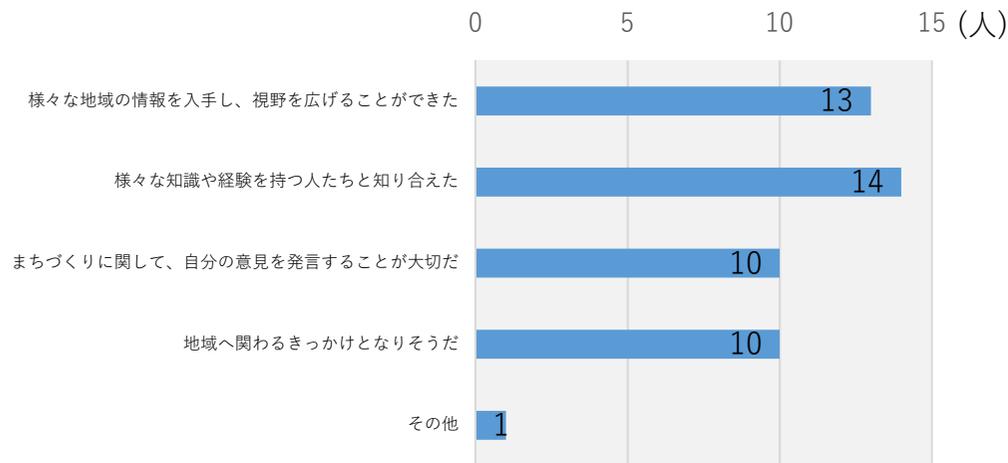
- 海に面した気候の穏やかな住みやすいまちだと思います。恵まれた自然を大切に守っていきたいです。
- 常滑市は知多半島の隅々までアクセスが良好で、知多半島にあるあらゆる資源を生活の中に取り入れることができる。窯業・漁業・農業・酪農・醸造・縫製等、生活者を豊かにする営みが身近にあり、日々のくらしを豊かなものにしてくれる。また、常滑の海岸沿いは市民の尊い共有財産であり、まるで「社会の余白」のようなその空間が生まれる。「時間の流れ」「過ごし方」「眺望」は希有である。私は山間部で生まれ首都圏での仕事を経て常滑に移住をしたが、10年経った今でも日々新しい体験を得ることができる。それは「素敵な街・住みやすい街」というより「愛着」だと思う。
- 訪問看護をしています。歳をとっても、病気や障害を持って、住み慣れた常滑の地で、自分らしく暮らしている方がたくさんいるのだと知りました。たくさんの方の市民の皆さんが、常滑で生き、常滑で逝くことができるような、そんな街づくりができるように活動したいです。
- 常滑で生まれ常滑で育ちました。仕事の都合で群馬県、岐阜県に転居したこともありますが最後は常滑で定住したく戻ってきました。
- 常滑には、地元の人なら知っている、知っている人は知っているという食事処が多いと思います。お店の人と顔見知りになれるような暖かい雰囲気を感じる事が多く、居所を見つけることやコミュニティに加わることが愛着に繋がっているのではと思います。
- 常滑出身で現在も常滑に住んでいましたが、15年ほど常滑を離れていた時期があります。その時、思い出す常滑の風景は、煙突が並ぶやきもの散歩道や多屋海岸から見える夕日でした。常滑焼ややきもの散歩道の景観は、残していきたいと思います。
- 現代に生きる私たちはとこなめの歴史と文化をあまりにも意識せずに暮らしている。まずは市民が理解して、自分が住む街を誇りに思えるようにすることから始めるのが大切なのではないかと思います。
- 多くの方が住みたいと思う地域にしたい。
- 海が近くて、のどかで住んでいる人ものんびりしていて穏やかな感じがあり心地よい。
- 子供も大人も、常滑市の誇れる街として将来を創造し、一步一步進んでいる実感ができ、ワクワク感のある 活気あふれる状況を作っていきたい。

(2) アンケート結果 ※抜粋

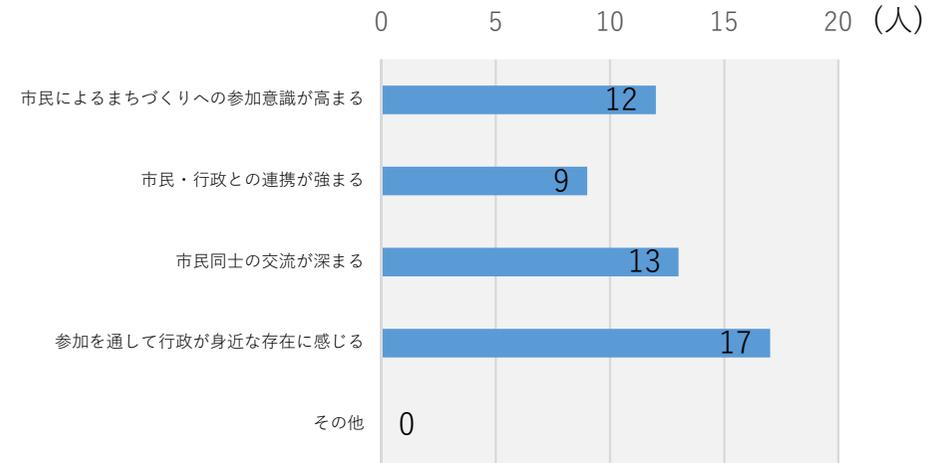
①ワークショップ全体の満足度



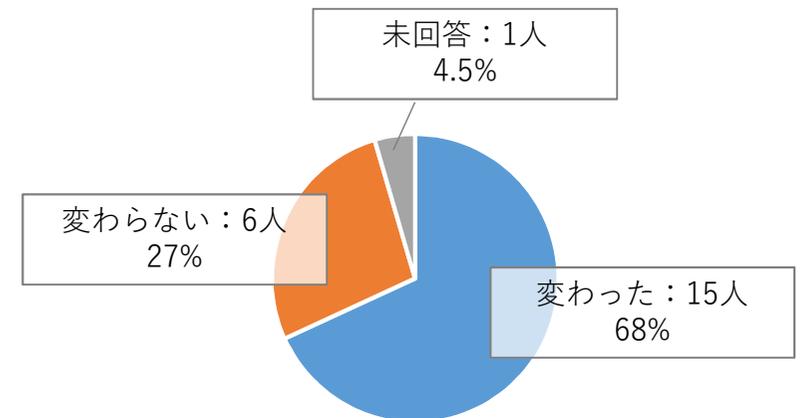
②ワークショップに参加した感想 (複数回答)



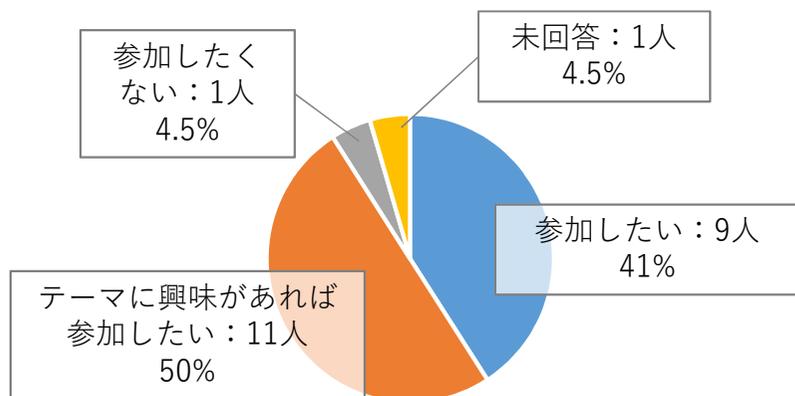
③このような機会がまちづくりに与える影響 (複数回答)



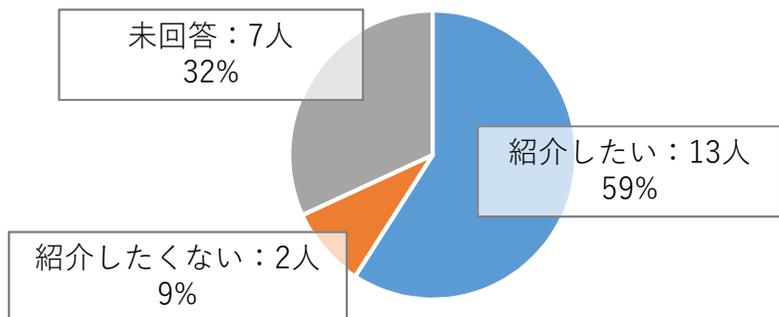
④ワークショップ参加による地域のまちづくりに対する考え方の変化



⑤今後このような機会への参加意向（自身）



⑥今後このような機会の紹介意向（家族・友人）



⑦全体・各回の感想、自由意見

項目	内容
ワークショップについて	<ul style="list-style-type: none"> コロナで人の交流に制限があるが、このような意見交換や交流を日常的に持つことは重要だと思った。 ワークショップで出た意見などを市民の皆さんに共有してほしい。 第2回のワールドカフェ方式は、自分の書いた意見が驚くほど発展していて嬉しくなった。 常滑の未来について真面目に向き合う良い機会になった。 普段知り合えない人と意見交換ができた。 公募市民が少なく、もっと多くの市民に関わっていただきたかった。 第6次総合計画を見るのが楽しみになった。 市民の一人として、良いまちになるようにと思うようになった。 ファシリテーターやグループの人の意見によって、自分が言語化できていなかった思考がクリアになり、より深いところまで考えが及ぶようになった気がする。 市長さんを身近に感じられたことも良かった。
気づき・印象に残ったこと	<ul style="list-style-type: none"> 常滑市民の暮らしは多様だと改めて感じた。 みんな常滑愛があること。 共通課題や意識を持っていることがわかった。 皆さん、常滑が好きで良くしようと思っている。足し算では追い付かないので掛け算で良くする必要がある。 市内の中心と南北では住環境も教育環境も全く異なることに改めて気づかされた。 市外から常滑に移って来た人のほうが常滑の良さを理解されていると感じた。 自分の基本概念は全体意見と大きく変わらないことが分かった。 いろいろな視点が必要だと改めて感じた。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 将来のことを子どもたちにも考えてもらいたい。

4 参加者名簿

	分野・所属・肩書等	氏名
一般公募	一般市民	西本 隆行
	一般市民	柴山 峰明
	一般市民	片山 正和
	一般市民	植田 登志子
	一般市民	永田 雄大
各分野	移住者・デザイナー	河合 秀尚
	移住者・やきもの	加藤 明夏
	移住者・ヨガインストラクター	伊藤 利栄子
	商工業	村田 一夫
	建設業	佐藤 直志
	起業家・植物療法士	村田 美沙
	商工会議所青年部	村田 一輝
	福祉・医療・介護	渡邊 和子
	農業	酒井 良子
	情報・メディア	富田 好
	空港関連	早川 莉奈
	空港関連	浅田 久美子
空港関連	原 慎一	
オブザーバー	福祉教育部会長（市福祉課長）	吉川 和彦
	福祉教育部会副会長（市学校教育課長）	竹内 孝光
	建設経済部会長（市都市計画課長）	山本 雅和
	建設経済部会副会長（市商工観光課長）	安藤 麻美
	総務企画部会長（市総務課長）	安藤 哲成
	総務企画部会副会長（市安全協働課長）	齋田 充弘
	ファシリテーター	久野 弘幸
	アシスタント	高橋 直之
		杉本 ちあ

